

日本留学体験記

劉秋艷（中国・大連外国語大学）

日本に来てからもう三ヶ月になりました。振り返って見ると、いろいろなことがあって、大変でしたが、今まで頑張ってきてよかったなあと思っています。

思い出して見れば、私は出発の初日からあまり順調ではありませんでした。もともと日本に到着する予定は4月2日の午後でしたが、あいにく当日大連は見たこともない大雨でした。朝9時のフライトを11時半に遅延せざるを得なかったですから、成田空港に到着したのはもう4時になっていました。日本にいる友達に迷惑をかけたくなかったため、2つの重いスーツケースを持ちながらも、空港から寮までは自分できました。事前には、いろいろに調べたにも関わらず、切符の買い方とか乗り換えの道とか分からないことばかりでした。友達もないし、インターネットも繋がらないし、下手な日本語で周りの人に聞くしかできませんでした。幸いなことに、初日に聞いた人たちは皆親切で私に教えてくれました。エスカレーターを教えてくれただけでなく、スーツケースを運ぶのまで手伝ってくれた女性もいました。ようやく寮についた時はもう夜8時になってしまいました。説明会もネットの加入も間に合いませんでした。

4月はまだ来たばかりですから、布団や電気ケトルなどいろいろな生活用品を買うことと新たな環境を慣れることで忙しく過ぎました。生活面で、大変だったのは携帯電話の購入とネットの加入でした。先輩とか友達はいなくて、日本語には自信がなくてもすべてのことは自分で聞きながらやらなければなかったから、たまには無力感と孤独感も感じました。しかし生活上の問題はなんとか対応できるのに対して、自分の研究の方がもっと大変でした。4月の月初め、厳しい指導先生と面談した後、自分の研究計画の書き直すことを迫られて、ストレスが貯まるようになりました。

5月の月初めはゴールデンウィークで、皆はあちこちに遊びに行きました。友達の誘いを断った私は部屋の中に籠って研究計画を書き直しました。連休明けの火曜日はもう一度先生のところに伺って、いろいろなアドバイスをいただいたことから、読むべき本の数も増やしました。5月の中旬頃チューターさんと先生に勧められた民俗博物館に行きました。これは日本での、私の「初旅行」でした。帰る時はお茶も飲みに行って、チューターさんといろいろ話したから、本当に楽しかったです。



生活面では、私は私費留学生で、両親からの送金ももらいたくなかったため、アルバイトを始めました。日本語の練習もできるし、生活費も自分で稼げるので、疲れていても頑張る甲斐があると思います。

6月は続けて勧められた本を読んでいましたが、アルバイトの方はすこし大変になってしまいました。店を変えられて、6日間も休まずにシフトを入れられました。勉強とアルバイトと両方とも気を配らなければならないですから、体調が崩れそうと感じられましたが、やはり頑張っって超えてきました。6月中旬は同じコースの人たちと中華料理を食べに行っって、皆といろいろ話しました。6月の後半は読んだ本をまとめて、先生に報告する準備をしました。

7月の月初めは先生のところに伺いましたが、思いもよらず「勉強が全然足りない」「週に一冊の本を読まなきゃ…」と怒られてしまいました。梅雨の季節みたいに落ち込んでいる気分で、友達とディズニーランドへストレスを発散しに行きました。レイジングスピリッツ、タワー・オブ・テラーなどの怖いアトラクションは全部2回も乗っって、大声を出してストレスを解消しました。帰った後はまた立ち上がっって本を読む状態に戻っって、一冊の本を読んで発表の準備をしました。



最近では期末ですから、もっと忙しく過っっています。せっかく日本へ留学にきたのですから、夏休みは旅行に行きたいです。振り返ったら、日本にきた後、大変な時が多かったですが、これらの試練が自分を成長させると思っっています。留学の一年が過ぎた後、どんなに成長できるのか楽しみにしてっっています。